

## 産科研修目標

正常・異常の妊娠・分娩・産褥の経過を理解し、その取り扱い方を習得するために妊娠・分娩をおこなう女性の身体的、生理的特性を理解し妊娠から出産にいたる経過および女性性器特有の疾患につき全人的に診断、治療できる能力を身につける。

### 経験すべき診察・検査・手技

- 1、周産期生理（胎児発育・羊水・胎盤・分娩・産褥）の基本を説明できる
- 2、正常妊娠・分娩・産褥の管理法を述べることができる（B）
  - 正常妊娠の妊娠健診法を述べることができる
  - 正常妊娠の診察・処置・介助および管理法を説明できる
  - 正常産褥の管理・指導法を説明できる
  - 周産期感染の予防と体内感染による胎芽・胎児への影響を説明できる
  - 妊娠中および産後の乳房管理を説明できる
  - 新生児の管理・処置法を説明できる
- 3、異常妊娠・分娩・産褥の管理を説明できる
  - 流産
  - 早産
  - 産科出血
  - 乳腺炎
- 4、妊産婦への薬物の使用について説明し実施できる
  - 妊娠中の薬物投与
  - 褥婦への薬物投与と母乳への影響
  - 薬物投与の適用と禁忌
- 5、理解するべき産科検査
  - 内診および外診
  - 基礎体温測定法
  - 経膈および経腹超音波検査
  - 胎児出産前検査および羊水検査
  - 胎児・胎盤機能検査
  - 分娩監視装置による検査
  - X線検査による骨盤計測
  - 胎児造影
  - ダグラス窩穿刺

## 6、経験または理解すべき産科手術

分娩時の会陰切開・裂傷および膣壁・頸管裂傷の縫合

子宮内容除去術

吸引・鉗子分娩術

骨盤位牽出術

帝王切開術

子宮頸管縫縮術

子宮外妊娠手術

経験または理解すべき緊急性のある病態・疾患

産科救急疾患（流産・早産、異常分娩、子宮外妊娠子癇、前置胎盤、胎盤早期剥離、児頭骨盤不均衡、軟産道裂創、弛緩出血子宮破裂、胎児仮死）の診断・治療法を説明できる

## 婦人科研修目標

婦人科疾患の診断・治療・手術適応、手術、術後管理についての実際を理解し一般診療において対応できるようにするために

### 経験すべき診察法・検査・治療法

1．女性の解剖・生理学、発生学、生殖生理学の基本および性機能に関する内分泌学の基礎を理解できる

2．婦人科検査

内診および外診

経膣および経腹超音波検査

X線検査・CT・MRI等の画像診断

子宮頸部・体部の細胞診および組織診

コルポスコピー

子宮内膜試験掻爬

腫瘍マーカーの検査適応の理解

性器感染症の病原体の検出法

各種のホルモン測定およびホルモン負荷試験

頸管粘液検査法

子宮卵管造影

通水・通気検査

3、婦人科疾患を鑑別診断し治療をおこなえるように

良性腫瘍の診断・治療および病理について説明できる

悪性腫瘍の診断・治療・病理・および管理法を説明できる

放射線治療の理解と実際を説明できる

癌化学療法 of 理解と実際を説明できる

性器の異常・垂脱の診断・治療法を説明できる

婦人科救急疾患の診断・治療法を説明できる

不妊症の診断・治療法を説明できる

更年期障害の取り扱いを理解し実践できる

性行為感染症の疫学・診断・治療を理解し指導できる

婦人科性器感染症の診断・治療を理解し指導できる

婦人科心身症の取り扱いを理解し施行できる

婦人科の手術法を理解し適応を述べられる

### 経験すべき病態・疾患

無月経

思春期・更年期障害

外陰・膣・骨盤内感染症

骨盤内腫瘍

乳腺腫瘍